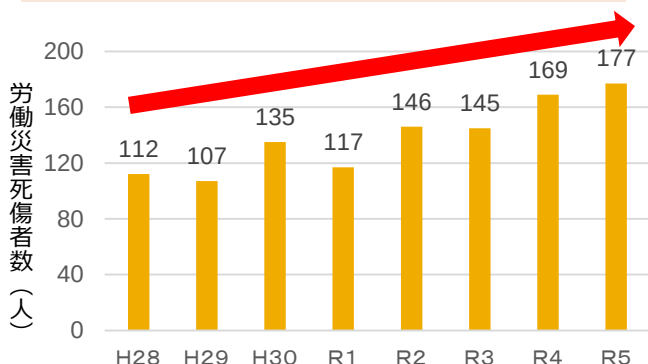


福島県内の介護施設に関わる皆様 労働災害を防止しましょう！

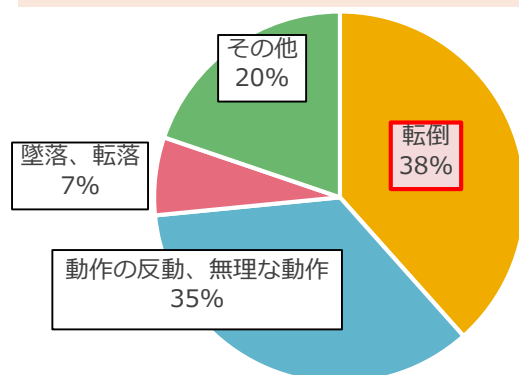
全国的に労働災害は長期的に見て減少傾向にあります。介護施設に注目してみると、労働災害の減少傾向は見られません。介護施設における労働災害の特徴や対策を知り、効果的に労働災害を防いでいきましょう。

福島県内の社会福祉施設（介護施設含む）の労働災害発生状況 （新型コロナウイルス感染症り患を除く）

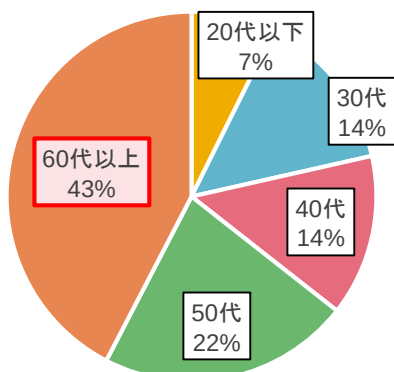
労働災害の推移（福島県社会福祉施設）



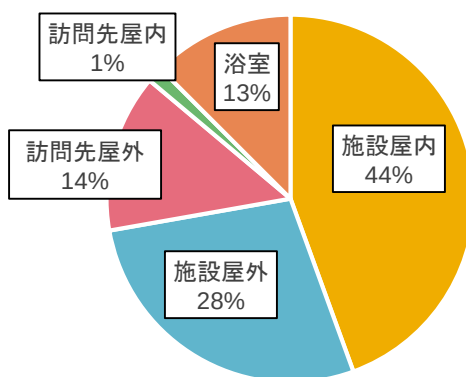
事故の型別労働災害割合
（令和5年福島県社会福祉施設）



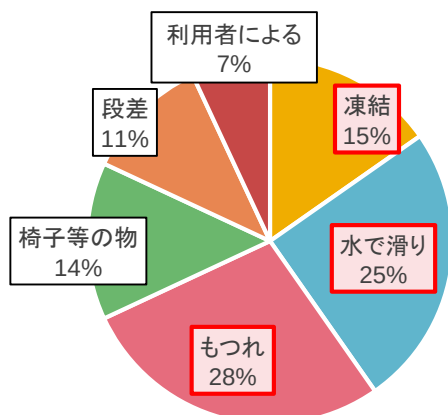
年齢別労働災害割合
（令和5年福島県社会福祉施設）



発生場所別転倒労働災害割合
（令和5年福島県社会福祉施設）



原因別転倒労働災害割合
（令和5年福島県社会福祉施設）



Point!

- ◎ 社会福祉施設の労働災害は増加傾向にあります。
- ◎ 事故の型別では**転倒災害**が約4割を占めています。
- ◎ 年齢別では**60代以上**が4割以上を占めています。
- ◎ 転倒災害の原因は、「**凍結・滑り・もつれ**」が約7割を占めています。
- ◎ 転倒災害発生場所は施設内外、訪問先等多岐にわたっています。

福島県内の転倒災害発生事例と対策

◆食堂・浴室等

<災害事例>

○食堂で、床が濡れていたため足を滑らせ転倒した。

○浴室の脱衣所で介助作業をしていた際、足を滑らせ転倒した。



<対策>

- 床等が濡れた場合は、完全に拭く。
- 脱衣所の出入口は、段差をなくし、床が濡れた状態にならないように、防滑用シートの上にタオルを敷き詰め、タオルが濡れてきたら、随時交換する。

<好事例>

脱衣所出入口にコルクや珪藻土を床に埋め込んで段差を無くし、床が濡れた状態にならないよう工夫している。

◆室外

<災害事例>

○敷地内のゴミ集積所にゴミを捨てに行く途中、凍結している所で足を滑らせ転倒した。



<対策>

- 凍結防止剤を撒いたり、雪かきをする。
- 必要な照度を確保する。人感センサーによる照明を設置する。
- 滑りにくい外履き用の靴を用意して使用する。

◆駐車場

<災害事例>

○敷地内の駐車場に駐車して降車した際、地面が凍結していたため足を滑らせ転倒した。

<対策>

- 履物は滑りにくく、雪や氷の上でも歩きやすいものを履く。
 - 凍結防止剤を撒いたり、雪かきをする。
 - 職場を巡視して、夜間照明の状態、冬季の雪の状態などを日時を変えて確認する。
- 確認した結果、問題のある箇所は職員に注意した上で、看板などを置いて注意喚起するか、通行禁止とする。

◆階段、段差のあるところ、スロープ（室内・室外）

<災害事例>

○棚の整理中、段差を踏み外し、足首をくじいた。

○螺旋階段で段差につまづいて前のめりに倒れた。

○屋内階段で、電気をつけようとしたら段差につまづいて転倒した。



<対策>

- 階段や段差には、滑り止め、滑り止めマット、手すりなどを設置し、滑りやすいスロープには防滑用塗料を塗ったり、摩擦の大きなマットを敷く。
- 階段や段差のあるところでは、足下が確認できるように照明を確保する。

◆居室

<災害事例>

○入所者の車椅子の前輪に左足を引っ掛け転倒し、右膝を床に強打した。

○居室にて作業中、コードが足に絡まり倒れた。



○利用者を車椅子から移動させるため車椅子を所定の場所から引き出そうとしたところ、近くに置いてあった別の車椅子のフットレストにサンダルを引っ掛け体のバランスを崩し転倒した。

<対策>

- 電気機器やナースコールのコードは、作業前に、足が引っ掛からないように片付ける。
- つまづく事が多い人は、以下の歩きやすい靴を履くようにする。
 - ①軽い
 - ②コンパクト
 - ③足にフィットする
 - ④踵がある
 - ⑤つま先部分と踵部分の重量バランスが取れている
 - ⑥つま先が少し上がっている
 - ⑦靴底が柔らかく曲がりやすい

労働災害防止対策の参考資料

◆事業主向け転倒災害防止リーフレット

- 転倒災害防止対策を実施するときに活用してください。



詳細はこちら



◆労働者向け転倒災害防止リーフレット

- 労働者に配布して注意喚起してください。



詳細はこちら



◆エイジフレンドリーガイドライン

- 福島県内の小売業における労働災害は、60歳以上の被災者が4割以上を占めることから、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく措置を実施してください。



詳細はこちら



◆効果的な転倒災害防止対策（ソフト面）

- ロコモ度は、ロコモ度2、ロコモ度1、無しの3段階で、移動機能の低下状態を見る化して労働者の自覚を促すことができます。
- ロコモ度テストは、①立ち上がりテスト（下肢筋力確認）、②2ステップテスト（歩幅確認）、③ロコモ25(からだの状態や生活状況確認)があり、身体能力（移動機能）の度合いを確認できますので、その結果を配布して労働者に自覚を促すことで、効果的な転倒災害防止対策（ソフト面）になります。



詳細はこちら



◆労働者向け労働災害防止教育用動画

- 安全衛生教育を行うときに視聴する等して活用してください。

【腰痛予防対策（保健衛生業）】



【労働災害防止対策（介護業）】



※日本語の他に、英語、中国語、ベトナム語、フィリピン語^{注1}、カンボジア語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語、モンゴル語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語の動画があります。
(右は英語、カンボジア語の例)
注1: 表記は職場のあんぜんサイトに合わせました。



【社会福祉施設向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材】



【転倒・腰痛予防！『いきいき健康体操』】



労働者向け労働災害防止教育用動画は、「職場のあんぜんサイト」の各種教材・ツールから視聴出来ます。

詳細はこちら ⇨



利用可能なサービスなど

◎中小規模事業場安全衛生サポート事業（中央労働災害防止協会）

中小事業者（1事業場につき、概ね100人未満で、労働保険加入の製造業、第三次産業、鉱業）は、**無料**で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます。

詳細はこちら
⇒



S A F Eコンソーシアム

厚生労働省は、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートしていきます。

加盟は無料で、ロゴマークの使用やアワードによる労働安全衛生への取組のPR、加盟メンバー間での取組事例の共有による企業内等での労働安全衛生水準の向上等のメリットがありますので、趣旨に賛同いただければ是非加盟してください。



S A F Eコンソーシアムでは、「S A F Eアワード」という表彰制度を設けています。これは、企業、団体、事業場等に対して取り組み実例を募り、優良と認められる取組を進める企業、団体事業場等を顕彰する制度です。取り組まれている事例があれば、積極的に応募してください。

令和4年度に福島県内の社会福祉施設が腰痛予防対策について応募し、北海道・東北ブロックのブロック賞を受賞しました。

S A F Eコンソーシアムポータルサイト
(加盟申請、アワード応募)



福島県介護施設S A F E協議会

S A F Eコンソーシアムの一環として、都道府県労働局ごとに介護施設について、令和4年度より協議会を設置して運営をしています。福島県内の介護施設のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員とする「福島県介護施設S A F E協議会」を設置し、構成員による連携した取組を展開し、構成員の安全衛生管理の好事例を管内事業場へ水平展開を行うこと等により、福島県内全体の安全衛生に対する機運醸成を図ることを目的に活動しています。

福島県介護施設S A F E協議会構成員

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ・社会福祉法人創世福祉事業団 | ・社会福祉法人南東北福祉事業団 |
| ・医療法人社団ときわ会 | ・社会福祉法人南相馬福祉会 |
| ・一般社団法人福島県老人福祉施設協議会 | ・一般社団法人福島県老人保健施設協会 |
| ・中央労働災害防止協会東北安全衛生サービスセンター | ・福島産業保健総合支援センター |
| ・福島県 | ・一般社団法人福島県理学療法士会 |
| ・公益財団法人介護労働安定センター福島支部 | ・福島労働局（事務局） |